新機能および変更された機能に関する情報

この章は、次の内容で構成されています。

- 新機能および変更された機能に関する情報 （1 ページ）

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでのガイドでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでのガイドにおける変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 *1 : Cisco APIC* リリース *6.1(1)* の新機能および変更された動作

機能または変更	説明	参照先
該当なし	このドキュメントには、以前のリリースからの変更はありません。	なし

表 *2 : Cisco APIC* リリース *6.0(4)* の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
該当なし	このドキュメントには、以前のリリースからの変更はありません。	なし

表 *3 : Cisco APIC* リリース *6.0(3)* の新機能および変更された機能に関する情報

特長	説明	参照先
TCP MSS の調整	伝送制御プロトコル（TCP）の最大セグメント サイズ（MSS）を調整して、パケットのフラグメンテーションやドロップを回避できます。	TCP MSS調整について

新機能および変更された機能に関する情報

特長	説明	参照先
ブリッジ ドメインと L3Out の不正エンドポイント例外リストのサポート	グローバルな不正/COOP 例外リストを作成できます。このリストは、MACアドレスが見つかったブリッジ ドメイン上の全ての不正エンドポイントコントロールからMACアドレスを除外します。そして、L3Out の 不正 /COOP 例外リストを作成できます。ブリッジ ドメインまたは L3Out のすべてのMACアドレスを除外することもできます。これにより、すべてのMACアドレスに対して例外を作成する場合に例外リストを簡単に作成できます。各アドレスを個別に入力する必要はありません。	不正/ COOP 例外リストについて

表 *4 : Cisco APIC* リリース *6.0(2)* の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
該当なし	このドキュメントには、以前のリリースからの変更はありません。	なし

新機能および変更された機能に関する情報

表 *5 : Cisco APIC* リリース *6.0(1)* の新機能および変更された機能に関する情報

特長	説明	参照先
Cisco Nexus 9000 スイッチの安全な消去	Cisco Nexus 9000 スイッチは、永続的なストレージを利用して、システム ソフトウェア イメージ、スイッチ構成、ソフトウェア ログ、および動作履歴を維持します。これらの各エリアには、ネットワーク アーキテクチャや設計の詳細など、ユーザ固有の情報と、潜在的な攻撃者からの目標ベクトルが含まれている可能性があります。安全な消去機能を使用すると、この情報を包括的に消去できます。これは、返品許可（RMA）を使用してスイッチを返品するとき、スイッチをアップグレードまたは交換するとき、または寿命に達したシステムを廃止するときに実行できます。	Cisco Nexus 9000 スイッチの安全な消去について

新機能および変更された機能に関する情報

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。